clarion

取扱説明書

DB185MP
DB185MPS

CD/MP3/WMAレシーバー

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目　次

はじめに

主な特長 4
ご使用の前に 5
安全に正しくお使いいただくために 5
安全上のご注意 6
取扱上のご注意 8
ご確認事項 8
本体のお手入れについて 8
ディスプレイについて 8
表示画面について 8
エラー表示について 8
DCP部の取り扱いについて 8
CDの再生について 9
CDについて 9

本機の操作

■各部の名称とはたらき *10*
本体部 10
モード別ディスプレイ表示 12
■基本の操作 *14*
DCPの取り外しかた 14
DCPの取り付けかた 14
電源を入れる 15
ソースを選ぶ 15
音量を調節する 15
時刻を合わせる 15
表示を切り換える 16
重低音を増強する（マグナベースEX機能） 16
音質を簡単に設定する（Z-エンハンサープラス機能） 17
Z-エンハンサーを調整する 18
音質を調整する（バス/トレブル） 18
バランス/フェダーを調整する 19
■ラジオを聴く *20*
ラジオを選ぶ 20
受信バンドを切り換える 20
自動選局する（シーク選局） 20
手動選局する（マニュアル選局） 20
プリセット選局する 21
プリセットメモリーする 21
自動メモリーする（オートストア機能） 21
放送を確かめる（プリセットスキャン） 22
特定の放送局をすぐに選局する（ISR機能） 22

■CD/MP3/WMAを聴く 23
MP3/WMAについて 23
ディスクを入れる 24
ディスクを取り出す 24
すでに入っているディスクを聴く 24
再生を止める(一時停止) 24
曲を選ぶ 25
早送り/早戻しする 25
フォルダを切り換える（フォルダ選択モード） 25
いろいろな再生（スキャン/リピート/ランダム演奏） 25
■設定を変更する(アジャストモード) 26
設定項目の選びかた 26
設定状況を確認する（SETTINGS） 26
ポータブルオーディオの入力レベルを設定する（AUX SENS） .. 26
スクリーンセーバーを設定する（SCRN SVR） 26
タイトルスクロールを設定する（SCROLL） 27
ディスプレイ照明を設定する（DIMMER） 27
携帯電話のスピーカー出力を設定する（TEL-SP） 27
携帯電話音声の割り込みを設定する（TEL-SW） 27
■ポータブルオーディオ/携帯電話音声を聴く（AUX） 28
AUXを選ぶ 28
AUX入力の接続のしかた 28

その他

故障かな？と思ったら 29
エラー表示について 30
仕　様 31
アフターサービスについて ..... 巻末

主な特長

■MP3/WMA再生機能

・MP3/WMAフォーマットで記録したCD-R/RWが再生可能
・ISO9660レベル1,2、Joliet、Romeoに対応

■外部入力機能(AUX入力)

・AUX入力端子をフロントパネルに装備し、ポータブルオーディオやBluetooth®対応機器を接続することができます。

■フロントパネル

・高級感あるフロントパネルを採用
・盗難防止として取り外し可能

■表示部

・高輝度LCDディスプレイ採用

■最大出力50W×4chハイパワーアンプを内蔵

■Z-エンハンサープラス機能

・3つのイコライジングパターンで、お好みの音質を即座に設定

■マグナベースEX機能

・音量レベルに連動して、重低音域をコントロールする音質調整機能

■ラジオチューナー部

・聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能
・メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■CD/MP3/WMAプレーヤー部

・ID3タグ、WMAタグ表示が可能
・CD-R/CD-RW再生対応
・スキャン/リピート/ランダム機能

■Bluetooth®トランシーバー対応

・別販のBluetooth®トランシーバー(BLT370)を接続して、ハンズフリー通話やオーディオストリーミングが可能
・Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有物であり、クラリオン(株)は許可を受けて使用しています。

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この『**取扱説明書**』の表示では、製品を安全に正しくご使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告	⚠注 意
この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	⚠記号は警告 ・ 注意を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

●安全のため、ご使用の前に『**取扱説明書**』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、いつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

■使用上のご注意

⚠警 告

●運転者は走行中に操作をしない…

前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

●本機を分解したり、改造しない…

事故や火災、感電の原因となります。

●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

●ディスク挿入口や機器内部に水や異物を入れない…

火災や感電の原因となります。

⚠警 告

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する…

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている『**取付説明書**』をご覧ください。

⚠注 意

●**運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

●**ディスク挿入口に手や指を入れない…**

けがの原因となることがあります。

●**本機を車載用以外には使用しない…**

感電やけがの原因となることがあります。

●**電源を切るときは、音量を最小にする…**

電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

●**音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…**

火災の原因となることがあります。

●**本機の取付場所変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…**

専門技術と経験が必要です。

取扱上のご注意

ご確認事項

●COMPACT disc DIGITAL AUDIO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT マークのついたCDをご使用ください。

また、シースルーディスク(半透明CD)、ハート形や八角形など、特殊形状のCDはご使用しないでください。

●CD-R/RWで記録されたディスクでもご使用できない場合があります。

●本機は、MP3/WMAフォーマットのファイルが再生できます。

●CD-ROMは、本機ではご使用できません。

●車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

本体のお手入れについて

●本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に付けて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。

・樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。

・自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

●本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

●直射日光などの関係により、製品に光が反射する恐れがあります。運転の際は十分ご注意ください。

表示画面について

●非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

●液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

●本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「**エラー表示について**」の項目(30ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

DCP部の取り扱いについて

●DCP部は精密部品となりますので、DCPを落としたりして、衝撃を与えないでください。また、絶対に水をつけないでください。

●DCP部が汚れたときには、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

CDの再生について

●本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。

●CDを再生中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

●CDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CDについて

■取扱上のご注意

●CD-R,CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。

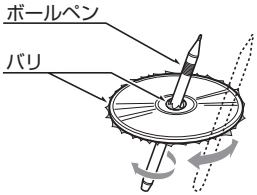
●各種コピーコントロールCDは、CD規格に合致しない特殊ディスクであり、弊社としてはCD再生機器における再生保証は致しかねます。万一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合には、CDの発売元にお問い合わせください。

●記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れなどを付けないように扱ってください。

●レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。

●セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

●新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

●直射日光の当たる場所

●湿気やほこりの多い場所

●暖房の熱が直接当たる場所

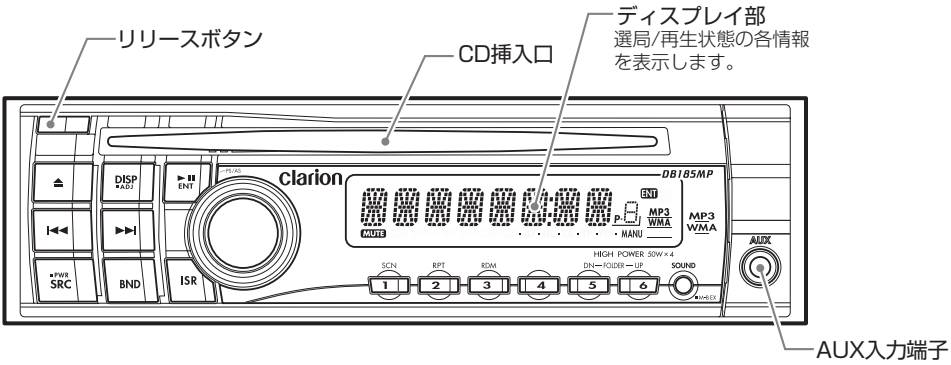
■お手入れ

●汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。

●従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本体部



[RELEASE]リリースボタン
- DCPを取り外すときに使用します。

[⏏]イジェクトボタン
- CDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。

[⏮],[⏭]サーチボタン
- ラジオモード時の選局に使います。
- CD/MP3モード時の選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。

[SRC]ソースボタン
- 電源を入れ、各ソースに切り換えます。
- 電源を切るときは押し続けます。（約1秒間）

[DISP]ディスプレイボタン
- ディスプレイ表示を切り換えます。
- 押し続け（約1秒間）て、調整モードになります。（アジャストモード）

[BND]バンドボタン
- ラジオモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続け（約1秒間）て、自動選局か手動選局に切り換えます。

[▶II ENT]プレイ/ポーズボタン
- ラジオモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。
- CD/MP3モード時は、再生の一時停止をします。

[ISR]ISRボタン
- 現在のソースにかかわらず、よく聴くラジオ局をすぐに呼び出します。（ISR機能）
- 押し続け（約2秒間）て、ISRにメモリーします。

[VOLUME]ボリュームノブ
- 音量を調節します。

1 [SCN]スキャンボタン

- CD/MP3モード時に、約10秒間ずつスキャン演奏をします。
- MP3/WMAディスク再生時に押し続け（約1秒間）て、オールスキャン演奏をします。

2 [RPT]リピートボタン

- CD/MP3モード時に、繰り返し再生をします。
- MP3/WMAディスク再生時に押し続け（約1秒間）て、オールリピート演奏をします。

3 [RDM]ランダムボタン

- CD/MP3モード時にランダム演奏をします。
- MP3/WMAディスク再生時に押し続け（約1秒間）て、オールランダム演奏をします。

1 ~ 6 [DIRECT]ダイレクトボタン

- ラジオモード時に、登録した放送局を呼び出します。押し続け（約2秒間）て、ダイレクトボタンに放送局をメモリーします。

DN ー FOLDER ー UP

5 6 [UP],[DN]アップダウンボタン

- MP3/WMAディスク再生時に、フォルダを切り換えます。

◎ [SOUND]サウンドボタン

- オーディオの各種調整をします。（サウンドモード）
- 約1秒間押し続けると重低音をON/OFFします。（マグナベースEX機能）

モード別ディスプレイ表示

■各モード共通の表示

ミュート（消音）時点灯

ENT：入力モード時に点灯

タイトル表示部

- モード表示（モード切換時に約2秒間表示します。）

TUNER　：ラジオモード
CD/MP3　：CD/MP3モード
AUX　：AUXモード

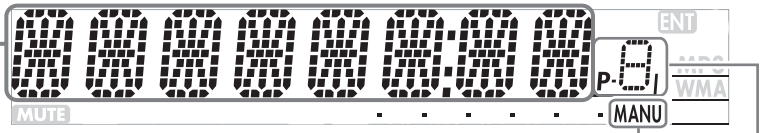
- マグナベースEX機能

M-B EX　：マグナベースEX機能ON時に表示
M-B OFF：マグナベースEX機能OFF時に表示

- タイトル表示
受信中の周波数やMP3/WMAディスクのタイトルなどを表示します。
詳しくは、各モードの表示をご覧ください。

- スクリーンセーバー
スクリーンセーバー機能で設定されたパターンを表示します。
詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)」(26ページ)をご覧ください。

■ラジオモード時の表示



- 受信バンド/周波数表示
F1 79.50：FMバンド名と受信周波数
AM1 954：AMバンド名と受信周波数

マニュアル選局に設定すると点灯

プリセットNo.（1～6）インジケーター

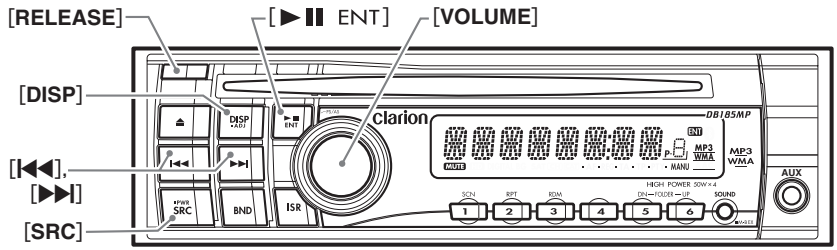
■CD/MP3モード時の表示

MP3：MP3再生時点灯

WMA：WMA再生時点灯

- メイン表示
  （音楽CD再生時）
  トラック番号/再生時間表示（分、秒）
  （MP3/WMAディスク再生時）
  トラック番号/再生時間表示（分、秒）
  フォルダ番号/再生時間表示（分、秒）
- タイトル表示
  （音楽CD再生時）
  トラックタイトル/ディスクタイトル/アーティストタイトル
  （MP3/WMAディスク再生時）
  トラックタイトル/フォルダタイトル/タイトルTAG/アルバムTAG/アーティストTAG
- 選曲切換時に表示(約2秒間)
  (音楽CD再生時)
  TRK SCN　：スキャン演奏選択時
  SCN OFF　：スキャン演奏キャンセル時
  TRK RPT　：リピート演奏選択時
  RPT OFF　：リピート演奏キャンセル時
  TRK RDM　：ランダム演奏選択時
  RDM OFF　：ランダム演奏キャンセル時
  (MP3/WMAディスク再生時)
  TRK SCN　：スキャン演奏選択時
  SCN OFF　：スキャン演奏キャンセル時
  TRK RPT　：リピート演奏選択時
  RPT OFF　：リピート演奏キャンセル時
  TRK RDM　：ランダム演奏選択時
  RDM OFF　：ランダム演奏キャンセル時
  ALL SCN　：オールスキャン演奏選択時
  ASCN OFF　：オールスキャン演奏キャンセル時
  ALL RPT　：オールリピート演奏選択時
  ARPT OFF　：オールリピート演奏キャンセル時
  ALL RDM　：オールランダム演奏選択時
  ARDM OFF　：オールランダム演奏キャンセル時

基本の操作



DCPの取り外しかた

DCP(Detachable Control Panel)について…

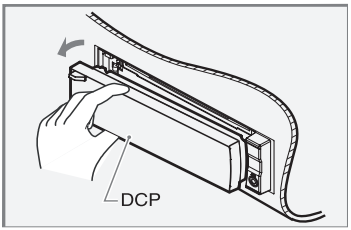
このコントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができます。
車から離れるときは、DCPをお持ちになることをお勧めします。

1 [SRC]ボタンを押し続けて(約1秒間)、電源を切る

2 [RELEASE]ボタンを深く押す

→DCPの左端が本体から外れます。

3 DCPを手前に取り出す

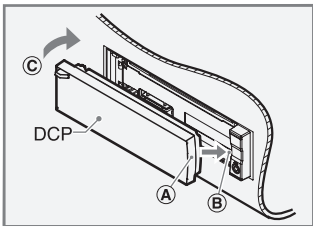


⚠注 意

- 運転中にDCPの脱着操作をしないでください。
- DCPは衝撃に弱いです。落としたり強い衝撃を与えると故障の原因となりますので取扱には、ご注意ください。

DCPの取り付けかた

1 DCPの右側のⒶ部を、本機のツメⒷ部に差し込む



2 DCPの左端Ⓒ部を、カチッと音がするまで押す

⚠注 意

- DCPがロックされていない状態で走行すると振動により落下する恐れがありますので、本機に確実に取り付けてください。
- 本機とDCPを接続しているコネクターは大変重要な部分です。爪やドライバーなどで押してキズをつけないように、注意してください。

ご注意

- DCPが汚れている場合、乾いた柔らかい布でふいてください。

電源を入れる

1 [**SRC**]ボタンを押す

ご注意

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■電源を切るときは…

[**SRC**]ボタンを押し続けてください。（約1秒間）

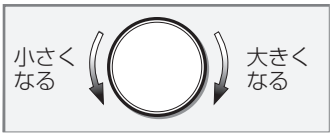
ソースを選ぶ

1 [**SRC**]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。

音量を調節する

1 [**VOLUME**]ノブを回す



⚠注 意

- 運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

時刻を合わせる

時計表示について…

本機は、車のエンジン作動時（ACC ON時）に時計を表示します。
時計は12時間表示です。

常に時計表示するには…

スクリーンセーバー機能が「**ON**」の時は、時計表示はしません。時計表示に切り換えて、スクリーンセーバー機能を「**OFF**」に設定してください。（16、26ページ参照）

1 [**DISP**]ボタンを押し続ける（約1秒間）

→タイトル表示部に「**CLOCK**」などを表示して、アジャストモードになります。

2 [**|◀◀**], [**▶▶|**]サーチボタンを押して、「**CLOCK** 」を選ぶ

3 [**▶❚❚ENT**]プレイ/ポーズボタンを押す

→調整時点「**PM　2:20**」などの時刻を表示し、時刻設定モードになります。

- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 [**|◀◀**], [**▶▶|**]サーチボタンを押して、時または分を選ぶ

→点滅している項目が調整できます。

5 [**VOLUME**]ノブを回して、時刻を合わせる

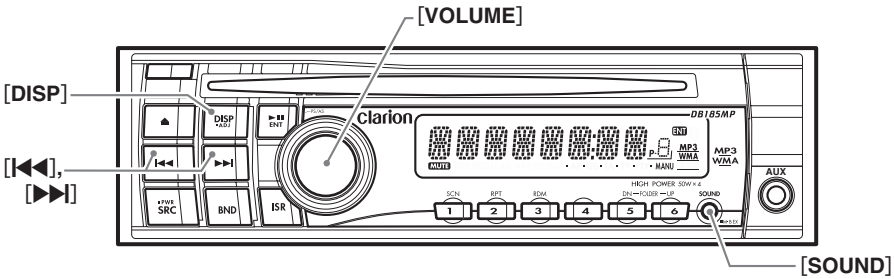
6 [**▶❚❚ENT**]プレイ/ポーズボタンを押す

→時刻が設定されます。

ご注意

- 電源OFF状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。
- 点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう一度、時刻合わせをしてください。

7 [**DISP**]ボタンを押して、元のモードに戻る



表示を切り換える

1 [**DISP**]ボタンを押して表示を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

●ラジオモード

メイン表示
ラジオモード：バンド・周波数表示
↓↑
時計表示

●音楽CD再生時

メイン表示（トラック番号/再生時間）
↓
トラックタイトル（TRACK）
↓
ディスクタイトル（DISC）
↓
アーティストタイトル（ARTIST）
↓
時計表示

●MP3/WMAディスク再生時

メイン表示1（トラック番号/再生時間）
↓
メイン表示2（フォルダ番号/再生時間）
↓
トラックタイトル (TRACK)
↓
フォルダタイトル (FOLDER)
↓
タイトルTAG (TITLE)
↓
アルバムTAG (ALBUM)
↓
アーティストTAG (ARTIST)
↓
時計表示

■スクリーンセーバー機能について…

スクリーンセーバーの初期設定は「**ON**」です。選局/選曲操作に関連する表示を一定時間表示した後、この機能がはたらきます。設定については「**スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)**」(26ページ)をご覧ください。

■常に時計表示するには…

時計表示に切り換えて、スクリーンセーバー機能を「**OFF**」に設定してください。設定については「**スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)**」(26ページ)をご覧ください。

重低音を増強する（マグナベースEX機能）

1 [**SOUND**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→マグナベースEX(MAGNA BASS EX)がONになり、タイトル表示部に「**M-B EX**」を約2秒間表示して、重低音が増強されます。

■マグナベースEX機能を解除するには…

もう一度、[**SOUND**]ボタンを押し続けてください。タイトル表示部に「**M-B OFF**」を約2秒間表示します。

音質を簡単に設定する (Z-エンハンサープラス機能)

本機は、3つのイコライジングパターンをメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- **B-BOOST**：低音を強調
- **IMPACT**：低音と高音を強調
- **EXCITE**：低音と高音をさらに強調

※初期設定は、「**OFF**」です。

■Z-エンハンサーオフについて…

原音のままお聴きになりたいときは、Z-エンハンサーを「**OFF**」にしてご使用ください。

■音質をきめ細かく設定したいときは…

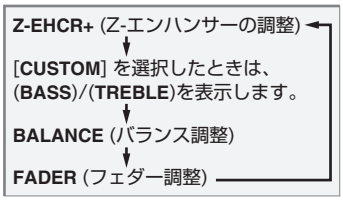
この機能を**CUSTOM**(カスタム)に設定し、「音質を調整する(バス/トレブル)」(18ページ)の手順で、お好みの音質に調整してください。

ご注意

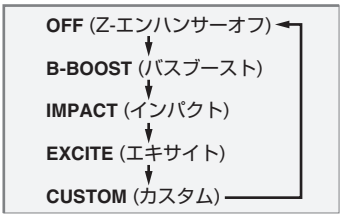
- 10秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

1 [**SOUND**]ボタンを押す

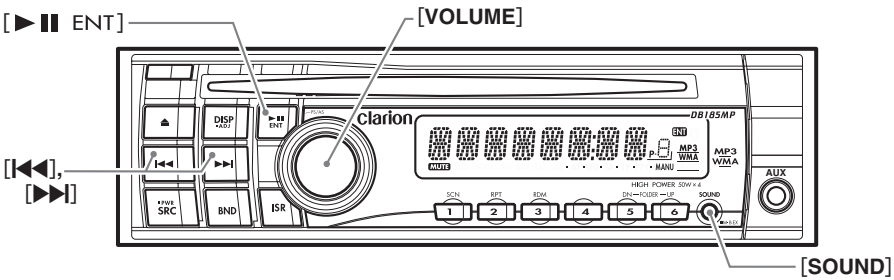
2 [**I◀◀**], [**▶▶I**]サーチボタンを押して、(**Z-EHCR+**)を選ぶ



3 [**VOLUME**]ノブを回して、お好みの音質を選ぶ



4 [**SOUND**]ボタンを押して、元のモードに戻る



Z-エンハンサーを調整する

ご注意

- Z-エンハンサープラス機能が**B-BOOST**（バスブースト）、**IMPACT**（インパクト）または**EXCITE**（エキサイト）のときに調整できます。
- 10秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

1 [**SOUND**]ボタンを押す

2 [**I◀◀**], [**▶▶I**]サーチボタンを押して、（**Z-EHCR+**）を選ぶ

■*B-BOOST、IMPACT、EXCITEを選択したとき*

3 [**VOLUME**]ノブを回して、（**B-BOOST/IMPACT/EXCITE**）を選ぶ

4 [**▶II ENT**]プレイ/ポーズボタンを押す

5 [**VOLUME**]ノブを回して、調整する

- 調整範囲は、−3〜+3です。

6 [**SOUND**]ボタンを押して、元のモードに戻る

■*CUSTOMを選択したとき*

3 [**VOLUME**]ノブを回して、（**CUSTOM**）を選ぶ

4 [**▶II ENT**]プレイ/ポーズボタンを押し続ける（約1秒間）

→「**FLAT**」を表示して、バス/トレブルの設定値が初期値に戻ります。

5 [**SOUND**]ボタンを押して、元のモードに戻る

音質を調整する（バス/トレブル）

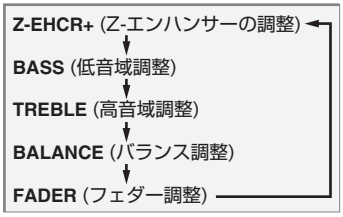
この機能は、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

ご注意

- この機能は、Z-エンハンサープラス機能が**CUSTOM**（カスタム）のときに設定できます。
- 10秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

1 [**SOUND**]ボタンを押す

2 [|◀◀], [▶▶|]サーチボタンを押して、(**BASS**)または(**TREBLE**)を選ぶ



3 [▶ II ENT]プレイ/ポーズボタンを押す

4

- **BASS**(低音域)を選ぶとき

4-1 [|◀◀], [▶▶|]サーチボタンを押して、「B<G　0>」(ゲイン)、「B<F　60>」(周波数)または「Q1」(Qカーブ)を選ぶ

4-2 [**VOLUME**]ノブを回して、調整する

- ゲイン(G)：調整範囲は、−7〜+7です。
- 周波数(F)：60Hz、80Hz、100Hz、200Hz
- Qカーブ(Q)：1、1.25、1.5、2

- **TREBLE**(高音域)を選ぶとき

4-1 [|◀◀], [▶▶|]サーチボタンを押して、「T<G　0>」(ゲイン)、または「T<F　10K>」(周波数)を選ぶ

4-2 [**VOLUME**]ノブを回して、調整する

- ゲイン(G)：調整範囲は、−7〜+7です。
- 周波数(F)：10kHz、12.5kHz、15kHz、17.5kHz

5 [**SOUND**]ボタンを押して、元のモードに戻る

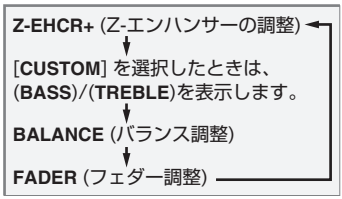
バランス/フェダーを調整する

ご注意

- 10秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

1 [**SOUND**]ボタンを押す

2 [|◀◀], [▶▶|]サーチボタンを押して、(**BALANCE**)または(**FADER**)を選ぶ



3 [**VOLUME**]ノブを回して、調整する

■左右のスピーカー(バランス)の調整

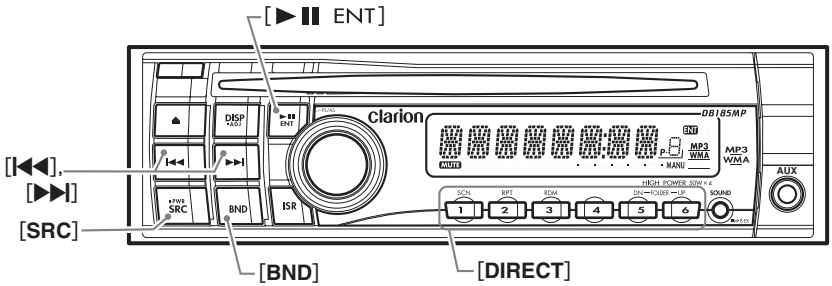
- 調整範囲は、LEFT12〜RIGHT12です。右に回すと右のスピーカーの音が強調され、左に回すと左のスピーカーの音が強調されます。

■前後のスピーカー(フェダー)の調整

- 調整範囲は、REAR12〜FRONT12です。右に回すと前のスピーカーの音が強調され、左に回すと後ろのスピーカーの音が強調されます。

4 [**SOUND**]ボタンを押して、元のモードに戻る

ラジオを聴く



ラジオを選ぶ

1 [**SRC**]ボタンを押してラジオモードを選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

TUNER → CD/MP3 → AUX

受信バンドを切り換える

1 [**BND**]ボタンを押す

→押すたびに、バンドが切り換わります。

F1 → F2 → AM1 → AM2

自動選局する(シーク選局)

1 「**MANU**」が点灯しているときは、[**BND**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**MANU**」が消灯すると、自動選局ができます。

2 [**I◀◀**], [**▶▶I**]サーチボタンを押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「**MANU**」が消灯しているときは、[**BND**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**MANU**」が点灯すると、手動選局ができます。

2 [**I◀◀**], [**▶▶I**]サーチボタンを押して、放送のあるところに合わせる

→手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

- ステップ選局のときは、[**I◀◀**], [**▶▶I**]ボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、[**I◀◀**], [**▶▶I**]ボタンを押し続ける(約1秒間)と、周波数が連続して切り換わります。

プリセット選局する

プリセット選局について…
あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 [**DIRECT**](1～6)ボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに受信周波数とプリセットNo.を表示します。

ご注意

- [**DIRECT**]ボタンを押し続ける(約2秒間)とプリセットメモリーとなり、受信中の放送局がメモリーされてしまいます。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…
プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 [**BND**]ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

2 [**I◀◀**], [**▶▶I**]サーチボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

3 メモリーさせたい[**DIRECT**](1～6)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→押した[**DIRECT**](1～6)ボタンに登録されます。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…
自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 [**BND**]ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

ご注意

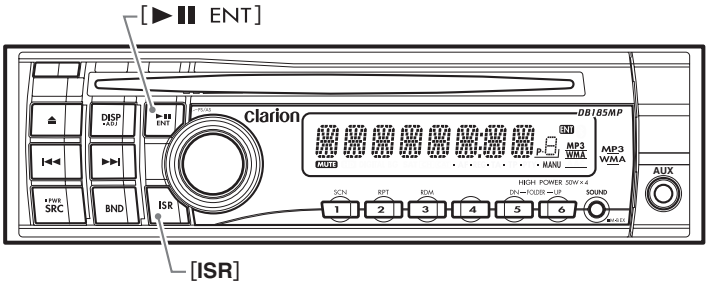
・自動メモリーは、受信バンド別に登録しますので、それぞれ登録してください。

2 [**▶ II ENT**]プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。
自動的に、受信感度の良い放送局が[**DIRECT**](1～6)ボタンに登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。



放送を確かめる（プリセットスキャン）

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 [▶IIENT]プレイ/ポーズボタンを押す

→プリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

- [▶IIENT]プレイ/ポーズボタンを押し続ける（約2秒間）と、オートストア機能になります。ご注意ください。

■プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、[▶IIENT]プレイ/ポーズボタンを押してください。

→ボタンを押したときに受信していた放送局になります。

特定の放送局をすぐに選局する（ISR機能）

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています。

1 [**ISR**]ボタンを押す

→ディスプレイに「**ISR 1620**」を表示します。

■元のモードに戻すには…

もう一度、[**ISR**]ボタンまたは[**SRC**]ボタンを押してください。

■ISRにメモリーするには…

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、[**ISR**]ボタンを押し続けて（約2秒間）ください。

→ISRにメモリーされます。

CD/MP3/WMAを聴く

MP3/WMAについて

●MP3とは

MPEG規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。
オリジナルの音声データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、さらに高音質なのが特長です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

●WMAとは

- 「Windows Media Audio」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。
- Windows Media™ 、およびWindows ®ロゴは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標および登録商標です。

●DRM(著作権保護)の解除方法について

WMAのDRM(著作権保護)がONのままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。以下の方法で解除してファイルを作成してください。

- Windows Media Player 10/11ご利用時は、「**ツール**」「**オプション**」「**音楽の取り込み**」のタブで、「**取り込みの設定**」の中の「**取り込んだ音楽を保護する**」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。

※作成したWMAファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

●MP3/WMAディスク作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート、ビットレートについては「**仕様**」(31ページ)をご覧ください。

ファイル拡張子

- ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。

論理フォーマット(ファイルシステム)

- MP3/WMAファイルをCD-R/RWに記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660(レベル1,2)、Joliet、Romeo」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- 同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

TAG表示について

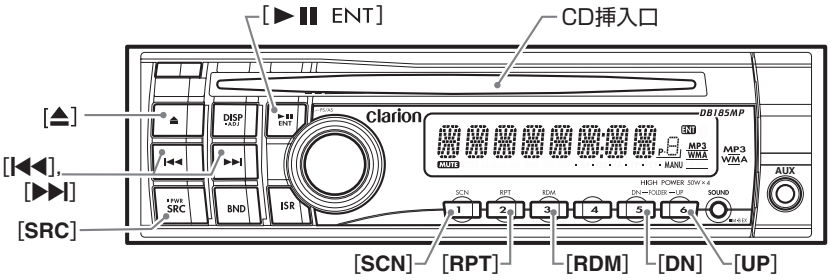
- MP3/WMA再生ではフォルダ名、ファイル名、TAGをタイトルとして表示することが可能ですが、名称は、**半角英数/記号(ASCII)**までとなります。それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しない場合があります。
- TAGのないMP3/WMAファイルは「**NO TITLE**」が表示されます。
- MP3の場合は、ID3-TAG V2.4/2.3/2.2/1.1/1.0に対応しています。TAG表示は、V2.4/2.3/2.2を優先します。
- WMAの場合、アルバムTAGは、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。

ファイル数/フォルダ数

- ファイル数は、最大578まで認識します。
- フォルダ数は、最大256まで認識します。

■MP3/WMAディスクの再生について

- MP3/WMAディスクを挿入すると、タイトル表示部に「**FILEREAD**」を表示して、ディスク内のすべてのフォルダをチェックしたのち、再生が始まります。チェックをしている間は音が出ません。読み込めないフォルダなど、作成したディスクによっては、チェックする時間がかかる場合があります。
- 読み込めないファイルは、そのファイルは飛ばして、次ファイルを再生します。
- 曲の再生はディスクに記録した順番に行われます(パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません)。



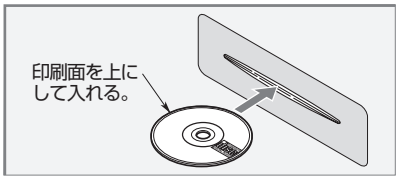
ディスクを入れる

ディスクインプレイ機能について…
本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればディスクを入れると、自動的に電源が入り、再生をはじめます。

⚠注 意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。
- CD-RまたはCD-RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

1 CD挿入口にディスクを入れる



→ディスクを入れると、自動的に再生がはじまります。

ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について…
本機の電源が入っていない状態からでも[⏏]ボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

1 [⏏]ボタンを押す

→ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

すでに入っているディスクを聴く

1 [SRC]ボタンを押して、CD/MP3モードを選ぶ

→CD/MP3モードになると、自動的に再生がはじまります。
ディスクが入っていないときは、タイトル表示部に「**NO DISC**」と表示します。

再生を止める(一時停止)

1 [▶II ENT]プレイ/ポーズボタンを押す

→タイトル表示部に「**PAUSE**」を表示します。

■再生を再開するには…
もう一度、[▶II ENT]プレイ/ポーズボタンを押してください。

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、[▶▶|]ボタンを押す

前の曲を聴くときは、[|◀◀]ボタンを2回押す

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、[▶▶|]ボタンを押し続ける
早戻しするときは、[|◀◀]ボタンを押し続ける

- MP3/WMAディスクの場合は、サーチ開始および曲間で多少時間がかかります。また、再生時間表示に誤差が生じる場合があります。

フォルダを切り換える（フォルダ選択モード）

フォルダ選択モードについて…
MP3/WMAディスク再生時にフォルダを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から再生します。

1 [**UP**],[**DN**]ボタンを押す

→5（DN）を押したときは前のフォルダに、6（UP）を押したときは次のフォルダに移ります。

いろいろな再生（スキャン/リピート/ランダム演奏）

■聴きたい曲を探す（スキャン演奏）

音楽CDまたはMP3/WMAディスク1フォルダ内に収録されている全曲を約10秒間ずつ再生します。

1 [**SCN**]ボタンを押す

→タイトル表示部に「**TRK SCN**」を2秒間表示して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、再生している曲の次の曲からはじまります。

■聴きたいフォルダを探す（オールスキャン演奏）

MP3/WMAディスク全フォルダ内の最初の曲を約10秒間ずつ再生します。

1 [**SCN**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「**ALL SCN**」を2秒間表示して、オールスキャン演奏をします。

■曲を繰り返し聴く（リピート演奏）

再生中の1曲を繰り返し再生します。

1 [**RPT**]ボタンを押す

→タイトル表示部に「**TRK RPT**」を2秒間表示して、リピート演奏をします。

■フォルダ内の曲を繰り返し聴く（オールリピート演奏）

再生中のMP3/WMAフォルダ内の曲を繰り返し再生します。

1 [**RPT**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「**ALL RPT**」を2秒間表示して、オールリピート演奏をします。

■曲をランダムに聴く（ランダム演奏）

音楽CDまたはMP3/WMAディスク1フォルダ内に収録されている曲を順不同に再生します。

1 [**RDM**]ボタンを押す

→タイトル表示部に「**TRK RDM**」を2秒間表示して、ランダム演奏をします。

■全フォルダの曲をランダムに聴く（オールランダム演奏）

MP3/WMAディスク全フォルダ内の曲を順不同に再生します。

1 [**RDM**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「**ALL RDM**」を2秒間表示して、オールランダム演奏をします。

■通常の演奏に戻すには…

1 もう一度、同じボタンを押してください。

→タイトル表示部に演奏オフ状態を2秒間表示して、演奏している曲から通常の演奏になります。

- "－－：－－"が表示されたときは、スキャン/リピート/ランダム演奏はできません。

設定を変更する(アジャストモード)

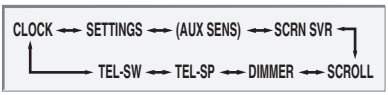
設定項目の選びかた

1 [**DISP**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「**CLOCK**」などを表示して、アジャストモードになります。

2 [**|◀◀**], [**▶▶|**]サーチボタンを押して、設定する項目を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。



- ディスプレーの「**ENT**」が点滅のときは、「▶❚❚ENT」プレイ/ポーズボタンを押して調整内容を表示します。
- (**AUX SENS**)は、AUXモードを選択しているときに表示されます。

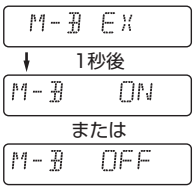
■設定を終えたら…
[**DISP**]ボタンを押してください。

設定状況を確認する(SETTINGS)

1 『設定項目の選びかた』の手順で「**SETTINGS** 」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して、各設定を表示する

- **表示例**：マグナベース　EX機能



ポータブルオーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)

本機に接続された市販のポータブルオーディオの入力レベルを設定します。
※初期設定は、「**MID**」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「**AUX SENS**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して設定する

- **LOW**：入力レベルが高く音割れなどが発生しているとき
- **MID**：通常レベルのとき
- **HIGH**：入力レベルが低いとき

ご注意

- この機能は、AUXモードを選択しているときに設定できます。

スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)

ディスプレイに時計表示などを常に表示させておきたい場合は、「**OFF**」に設定してください。
※初期設定は、「**ON**」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「**SCRN SVR**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して設定する

- **ON**：スクリーンセーバー機能がONになります。再生表示などの状態で約30秒間何も操作しないと、スクリーンセーバー表示となります。
- **OFF**：スクリーンセーバー機能がOFFになります。

タイトルスクロールを設定する(SCROLL)

MP3/WMAのファイルに記録されたタイトル表示をスクロールすることができます。
※初期設定は、「**ON**」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「**SCROLL**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して、設定する

- **ON** ：自動でスクロールをはじめ、スクロールを繰り返します。
- **OFF** ：タイトル表示が切り換わると、1回のみスクロールします。

ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)

車のイルミネーションに連動させて、照明を減光させることができます。
※初期設定は、「**ON**」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「**DIMMER**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して、設定する

- **ON** ：車のイルミネーションに連動して、ディスプレイ照明を減光します。
- **OFF** ：連動しません。

携帯電話のスピーカー出力を設定する(TEL-SP)

携帯電話の割り込み機能が「**ON**」に設定されているときに、電話音声が本機のスピーカーから出力されます。
※初期設定は、「**LEFT**」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「**TEL-SP**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して、設定する

- **RIGHT** ：右側のスピーカーから出力
- **LEFT** ：左側のスピーカーから出力

ご注意

- AUX Bluetooth®トランシーバー(BLT370)を接続して、以下の設定を「**ON**」にしているときに設定できます。

携帯電話音声の割り込みを設定する(TEL-SW)

携帯電話を別販の接続ユニットを介して接続すると、本機のスピーカーから携帯電話音声を聞くことができます。
※初期設定は、「**OFF**」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「**TEL-SW**」を選ぶ

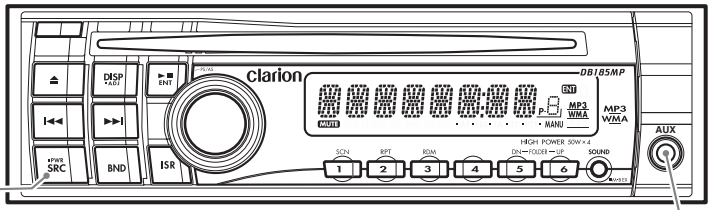
2 [**VOLUME**]ノブを回して、設定する

- **OFF** ：割り込みしません。
- **ON** ：携帯電話音声は本機のスピーカーから再生されます。
  また、音量は[**VOLUME**]ノブで調整することができます。
- **MUTE** ：本機から再生音は出ません。

ご注意

- AUX Bluetooth®トランシーバー(BLT370)を接続するときは、この機能を「**ON**」に設定してください。

ポータブルオーディオ/携帯電話音声を聴く(AUX)



AUXを選ぶ

本機に市販のポータブルオーディオなどを接続して、音楽ソースを聴くことができます。また、AUX Bluetooth®トランシーバー(BLT370)を接続すると携帯電話の通話音声を聴くことができます。

1 [SRC]ボタンを押してAUXモードを選ぶ

→接続されたポータブルオーディオのプレイ操作で、再生されます。

TUNER → CD/MP3 → AUX

■音が割れる/音が小さいときには…

本機の入力レベルを調整してください。詳しくは、「**ポータブルオーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)**」(26ページ)をご覧ください。

■AUX Bluetooth®トランシーバー(BLT370)を接続したときは…

この機能を使用するときは、「**設定を変更する(アジャストモード)**」(27ページ)で次の設定項目を変更してください。

・「**携帯電話音声の割り込みを設定する(TEL-SW)**」を「**ON**」にします。

※初期設定は、「**OFF**」です。

・「**携帯電話のスピーカー出力を設定する(TEL-SP)**」で運転席と反対側のスピーカーに設定します。

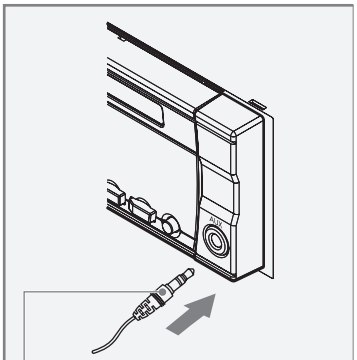
※初期設定は、「**LEFT**」(左側)です。

AUX入力の接続のしかた

市販のステレオミニプラグコードを使用して、ポータブルオーディオを本機正面パネルの[AUX入力端子]へ接続してください。

ご注意

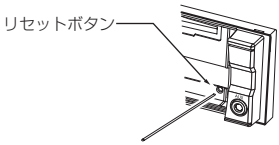
- プラグを接続している状態で、プラグに無理な力を加えないでください。また、ポータブルオーディオを使用しないときには、プラグを抜いてください。



接続には、3.5mmステレオミニプラグを使用してください。

故障かな？と思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現　　象	原　　因	処　　置
共通	電源が入らない（音が出ない）	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	1.電源をOFFした後、[**RELEASE**]ボタンを押してDCPを取り外す。 2.リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押してください。  リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリーなどがすべて消えますので、もう一度設定し直してください。
	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作している	音量をもう少し絞ってお聴きください。 電源を再投入することで、音声出力は復帰します。スピーカー保護回路が動作した場合は自動的にボリュームが絞られます。再度、短時間で音が出なくなる場合は最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。

	現　　象	原　　因	処　　置
CD／MP3／WMA	音が出ない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
		ディスクにMP3/WMAファイルがない	ディスクにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		ファイル形式または、ファイル名が正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeoでファイルを作成してください。
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		録音時のサンプリング周波数が低い	サンプリング周波数の設定を上げて録音し直してください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります	電源を入れた状態にして約1時間乾燥させてください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原　　因	対処方法
CD／MP3／WMA	**ERROR2**	本機にディスクが引っかかって、イジェクトされないとき	本機のメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、再生できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	ディスクを裏返しに入れ、再生できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたとき	録音されているディスクと交換してください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕　様

■CDプレーヤー部

周波数特性　　：10Hz～20kHz±3dB
SN比　　：90dB(1kHz) IHF-A
ダイナミックレンジ：85dB (1kHz)
高調波ひずみ率：0.01%

■FMチューナー部

受信周波数　　：76.0MHz～90.0MHz
実用感度　　：10dBf
50dBクワイティング感度：17dBf
SN比　　：70dB
周波数特性　　：30Hz～15kHz±3dB
分離度　　：35dB(1kHz)
高調波ひずみ率：0.3%(1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数　　：522kHz～1,629kHz
実用感度　　：25dBμV
SN比　　：50dB

■MP3/WMA部

ファイル数：最大578
フォルダ数：最大256
ファイル名/フォルダ名
　　：最大32byte(1byte文字で32文字)
論理フォーマット：
　ISO9660レベル1,2/Joliet/Romeo
(MP3ディスク)
MP3デコード　：MPEG-1、2、2.5 オーディオレイヤー3準拠
サンプリングレート(kHz)：
　MPEG-1　：32, 44.1, 48kHz
　MPEG-2　：16, 22.05, 24kHz
　MPEG-2.5：8,11.025,12kHz
ビットレート(kbps/VBR)：
　MPEG-1　：32～320kbps
　MPEG-2　：8～160kbps
　MPEG-2.5：8～64kbps
(WMAディスク)
サンプリングレート(kHz)：
　32, 44.1, 48kHz
ビットレート(kbps/VBR)：
　48～192kbps

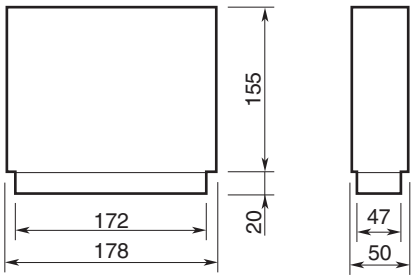
■オーディオ部

定格出力　　：20W×4(20Hz～20kHz、1%、4Ω)
最大出力　　：50W×4
適合インピーダンス：4Ω(4Ω～8Ω)
トーンコントロール
　BASS　　：±14dB (100Hz)
　TREBLE　：±14dB (10kHz)
マグナベースEX：
　+10dB(50Hz) (音量ステップ 14)
ラインアウト出力レベル：1.8V(CD1kHz)

■共通部

電源電圧　　：DC14.4V
接地方式　　：マイナス接地
消費電流　　：3.0A(1W時)
ヒューズ定格：15A
外形寸法　　：
　178(W)×50(H)×175(D)mm
　[取付寸法：155(D)mm]
　質量　　：1.1kg

●本体部



■付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- セムス六角ボルト 5本
- サラネジ(M5×8) 4本

＊これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■保証書
この商品には、保証書が別途添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間
お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合
保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について
修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について
本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年間保有しています。

■ご質問・ご相談について
本機に関するご質問・ご相談は、最寄りの弊社修理相談窓口または弊社お客様相談室にお問い合わせください。所在地と電話番号は、本機に付属の修理相談窓口リストをご覧ください。

クラリオン株式会社

本社事務所
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2
Clarion ホームページ　http://www.clarion.com

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル：0120 -112 -140
(9：00〜12：00・13：00〜17：30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

＊お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

Printed in China　2007/12　PA-3073A　280-8586-00